

指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	埼玉県東部地域振興ふれあい拠点施設
指定管理者	埼玉ふれあい拠点運営共同事業体
評価対象年度	令和2年度
施設所管課	産業労働部 産業支援課

評価項目	細項目	評価	コメント
利用者の 安心・安全、 平等利用の 確保	安全性の確保	A	管理の瑕疵等による事故等はなく、日常の事故防止等の安全対策は適切であった。
	法令等の遵守	A	施設の法定点検業務は適切に行われた。業務に係る個人情報保護は適切に行われた。
	平等利用の確保	A	利用許可は基準に従い適切に行われた。
施設の設置 目的の達成	事業の実施	A	にぎわい創出を目標とする自主事業等は、新型コロナウイルスの影響で多くが中止となった。感染防止対策を講じながら創業支援事業等を適切に実施した。
	利用状況	A	多目的ホールの利用率・利用人数は新型コロナウイルスの影響が大きく、目標を達成できなかった。指定管理者の責によるものではないと考える。 ・利用率: 目標86.5%以上⇒実績40.9% ・利用人数: 目標120,000人以上⇒実績14,160人
	適切な管理の履行	A	協定書等に基づき維持管理が適切に行われた。新型コロナウイルス感染症予防に係る清掃・消毒作業についてマニュアル化した。
	財産の適切な管理	A	建物、設備その他の県有財産について適切な管理が行われた。
利用者サービスの向上	サービス内容の向上	A	新型コロナウイルス対策に対応した貸館業務(感染予防に対応した座席レイアウト例の作成、清掃個所や頻度の追加等)を実施した。
	利用者の満足度	A	利用者からの意見を把握し、施設管理に反映させた。利用者アンケートにおいて、「事業内容」、「施設の快適性」で80%超の方に満足いただいた。
総合評価		A	新型コロナウイルスの影響を受けたが、感染症予防対策を図りながら、施設の管理運営を安全かつ適切に行った。

特記事項	特に評価すべき点	新型コロナウイルス流行の影響を受けたが、施設利用者が安心して利用できるよう感染症予防対策に積極的に取り組んだ。
	次年度に向けて改善が望まれる点	感染症対策を講じた自主事業等の実施による地域のにぎわい創出。オンラインを活用した施設利用の提案をすることで、利用率の向上。